

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2024 JAN.

第 248 号

学校長からのメッセージ

新年おめでとうございます。みなさんは新しい年をどのように迎えられたでしょうか。

私が毎年思い出すのは、1月2日、息子が生まれた日の病院へ向かう車中から見た青い空です。誕生日は本人より母親の方が思い入れがあるかもしれません。神様からの祝福をいっぱい受けた喜びを実感したものです。

神さまからの祝福は日常的に感じるがあります。それは、私たちが自分で選んでいると思っている道でも、そこに神様が呼び寄せてくださっていて、神様のコーリング (calling) が働いていると感じるのです。このことは、どの生徒、どの教職員にも言えることでしょう。皆、神様によって YMCA に呼び寄せられ、“神様のお仕事”をするようにと使命を与えられていると思います。

その一つに A さんとの出会いがあります。A さんは車椅子を使って本校を見に来たのですが、私は「この子が YMCA に来たらきっと幸せになる」「入学してほしいな」と心から思ったのでした。そうしたら本当に入学してきたのです。A さんは努力家で、体調が悪い日も多くありましたが、体育も自分のできる範囲で精一杯参加していました。一時は歩けるようにもなり、ヘルスケア講座やキャンプなどにも積極的に楽しんでいました。

先月、12月に A さんの“小さな卒業式”を行いました。A さんは昨年3月の卒業生でしたが、起立性調節障害のため、卒業礼拝当日は体調が悪く、出席できなかったのです。その後ずっと「卒業の感謝を伝えたい」と望んでいたのですが、先月やっと体調が整い、お母様と一緒に式を行いました。A さんは「中学校の時は自分の病気をわかってもらえなくて、辛い思いをしたけれど、YMCA では大切な友達ができ、入学して本当によかった。今は居場所を失ったようで少し寂しい」と寄せてくれました。

今、お家で本格的な料理やお菓子作りをしていると聞いて、私は、「バレンタインデーに美味しいクッキーを待って」と、敢えて伝えました。この小さな約束が A さんの希望になることを願って。

皆さんにとって希望がもてる 1 年となりますように祈ります。

(校長 鍛冶田 千文)

「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

(ヨハネによる福音書 15 章 17 節)





今月の聖句

「わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。強く、雄々しくあれ。」

(ヨシュア記 1 章 5～6 節)

2024 年が始まりました。新しい一年を歩み始める時、いろいろな目標や抱負を抱くという人も多いと思います。そういうものを抱きつつ、それに向かって進むということも大事なことだと思います。けれども、すべてが思い通りにいくわけではありません。途中で思いがけないことが起こるのもまた人生です。思いがけずうれしいこと、楽しいことがあった、ということであればいいですが、嫌なこと、つらいこと、しんどいことがあった場合は気持ちが落ち込んでしまうこともあります。

でも、そんなときは思い出してほしいのです。あなたは一人ぼっちではなく、神様がいつも守っていてくださること。そして、あなたを導いてくださっているということ。そのときはつらいことであっても、その経験が必ずあとで生かされることになります。どんな経験でも、無駄なことはありません。神様がすべてをご存知で守り、導いてくださっていますから、心配せずに歩いていく、そんな一年となりますように。

(日本キリスト教団 河内長野みぎわ教会 福島 義也 牧師)

